

## 診療情報を利用した臨床研究について

虎の門病院血液内科及び虎の門病院分院血液内科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をまとめるものです。この案内をお読みになり、ご自身がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「自分の診療情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の相談窓口までご連絡ください。

### 【対象となる方】

2010年1月以降の研究期間内に、虎の門病院血液内科および分院血液内科で急性混合性白血病と診断された方

### 【研究課題名】

WHO2008分類に基づく急性混合性白血病の診断とその後の臨床経過の検討

### 【研究の目的・背景】

#### 《目的》

急性混合性白血病の診断とその後の臨床経過を明らかにすること

#### 《研究に至る背景》

急性混合性白血病は稀な疾患で、その診断基準は報告によって異なっていましたが、2008年に発表されたWHO分類で診断基準が統一されました。したがって、この基準に基づいて診断された急性混合性白血病の臨床経過についての報告は少ないです。

### 【研究のために診療情報を解析研究する期間】

2014年6月6日 ～ 2030年3月31日

### 【単独／共同研究の別】

虎の門病院及び虎の門病院分院共同研究

### 【個人情報の取り扱い】

お名前、ご住所などの特定の個人を識別する情報につきましては特定の個人を識別することができないように個人と関わりのない番号等におきかえて研究します。学会や学術雑誌等で公表する際にも、個人が特定できないような形で発表します。

また、本研究に関わる記録・資料は虎の門病院血液内科・医長 高木伸介のもと研究終了後5年間保管いたします。保管期間終了後、本研究に関わる記録・資料は個人が特定できない形で廃棄します。

【利用する診療情報】

患者背景：年齢、性別、身長、体重、原疾患名、移植前病期、予防抗菌薬

移植情報：前処置、graft-versus-host disease (GVHD) 予防、移植日、造血幹細胞源、移植細胞数、pre-engraftment immune reactions (PIR) および GVHD の有無・stage・grade・治療内容、好中球生着日

患者所見：体温、血圧、脈拍、自覚症状、他覚所見

血液検査：血算、生化学、凝固

画像診断：胸部 X 線、胸部 CT

予後に関する情報

【研究代表者】

虎の門病院血液内科・医長 高木伸介

【虎の門病院における研究責任者】

虎の門病院血液内科・医長 高木伸介

【虎の門病院分院における研究責任者】

虎の門病院分院血液内科・部長 和氣 敦

【研究の方法等に関する資料の閲覧について】

本研究の対象者のうち希望される方は、個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲内に限られますが、研究の方法の詳細に関する資料を閲覧することができます。

【ご質問がある場合及び診療情報の使用を希望しない場合】

本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、またはご自身の診療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、下記相談窓口までご連絡ください。

また、ご自身の診療情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、2023年3月31日までの間に下記の相談窓口までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様にご不利益が生じることはありません。

【相談窓口】

虎の門病院 血液内科・高木 伸介

電話 03-3588-1111(代表)

虎の門病院分院 血液内科・和氣 敦

電話 044-877-5111(代表)